

パルコニ一橋

2026年3月1日

2026年春号

URL:<http://www.venus.dti.ne.jp/~basara/EX/ssk/>

「子どもが教えてくれること」 多摩市豊ヶ丘児童館 館長 三好博之

豊ヶ丘児童館では、職員が子どもたちと一緒に遊ぶ中で「こんな児童館がいいな」という意見や、児童館でやりたいイベント・遊びなどを聞き、実現してきました。現在高校生2年生の子たちが小学生の時に話してくれたアイデア「玄関をカフェ風ラウンジにしたら児童館がもっと明るくなると思う」を実現したのが「ねこカフェ」。当時の中学生が提案してくれた「児童館にスタバのような場所（カウンターのように少し高い机と椅子）があったら、気軽に勉強したりゲームしたりできてうれしい」というアイデアを実現したのが「あおぞらカフェ」。コロナによって室内での食事が制限されていた時期に、小学生が話してくれた「外にテラスのような場所があったらいいな。そうしたらそこで友達とおやつやお弁当を楽しく食べられるのに」というアイデアを実現したのが「南国風カフェ」。どれも職員では思いつかないと思われるアイデアで、今もずっと子どもたちに人気の場所です。そうやって、職員と一緒に遊びながら話してくれる子たちのアイデアはたくさん参考にさせて頂いてきましたが、児童館に遊びに来る子どもたちの中には、自分たちだけで遊んでいる子や、一人で静かにマンガを読んでいる子もいます。あるとき「そんな人たちの意見を聞く場もあるといいね」という提案が子どもたちからありました。確かにその通りです。子どもだって多摩市民です。他の公共施設のように、市民として運営に意見を言える場は児童館にも必要だ、ということで3年前から「子ども会議」を開催し、意見やアイデアを聞く場を設けることにしました。3年間で16回開催し、約100人の子どもたちから意見を聞くことができました。そしてその中からたくさんのイベントを実施し、おもちゃを購入してきました。もちろんどのイベントもおもちゃも大人気です。これからも「みんなが楽しめる豊ヶ丘児童館」とはどんなものなのか、子どもたちと一緒に考え、教えてもらいながら、よりよい児童館を目指して職員一同尽力してまいります。

部活動の地域展開について

青陵中学校 副校長 高治圭吾

現在、国全体で部活動のあり方を見直す取り組みが進められています。文部科学省では、令和5年度から令和7年度までを「改革推進期間」と位置付け、特に休日の部活動について、これまで学校が中心となって行ってきた形から、地域の団体が中心となって運営する「地域クラブ活動」への移行を目指しています。多摩市でも「地域展開」と称し、休日の部活動を地域の団体や指導者が担い、教員の負担を減らす仕組みを整える取り組みを進めており、令和13年度までに休日の部活動を原則全て地域で運営することを目標としています。

試行実施に向けて多摩市では、「学校部活動ガイドライン及び地域クラブ活動への移行に関するガイドライン」が作成されました。このガイドラインは、2つの柱で構成されています。1つは、学校における部活動の適切な運営を示す「学校部活動ガイドライン」です。ここでは、学校が部活動の方針をしっかりと定めることや、熱中症対策、休養日の設定など、生徒の安全と健康を守りながら、合理的で効果的な活動を行うための体制づくりが示されています。もう1つは、「地域クラブ活動への移行に関するガイドライン」です。地域が主体となって行う新しい活動の形について、運営や指導者、費用負担、保険加入など、実際に運営していく上で必要な具体的な事項が示されています。

多摩市では、令和7年12月からいくつかの部活動で休日の地域展開を試行的に始める予定で、地域全体で子どもたちの活動を支える新しい仕組みづくりが始まっています。安全で充実した活動を実現するために、地域の理解と協力がますます大切になっていきます。

12月から以下の部活動が試行実施する予定です。

- ・ 聖ヶ丘中学校・諏訪中学校（合同サッカー部）
- ・ 聖ヶ丘中学校（男子バスケットボール部）
- ・ 多摩永山中学校（吹奏楽部）



1年間の活動を終えて ～副会長の声～

今回初めて青少協の活動に、副会長という形で参加させていただきました。分からないことだらけでしたが会長をはじめ同じ副会長のみなさんと一緒に活動し、正直こんなに忙しいのか…と感じながらも楽しく過ごすことができました。また定例会や行事を通してたくさんの方々が地域の子たちを見守ってくださっていると感じ、あらためて貝取・豊ヶ丘地域の温かさを感じるいい機会となったと思います！
一年間ありがとうございました。青陵中 鈴木直子

一年間活動を終えて、このようなたくさんの方々と関わり合いながら、子どもたちを見守るという経験をさせていただきました。どんどん焼きではたくさんの方にご協力いただき感謝申し上げます。皆さまにご協力いただき副会長を一年間務めることができました。今後も何かの形で地域の活動に関わっていただけたいと思います。ありがとうございました。豊ヶ丘小 日野恵美子

今年も副会長を務めさせていただきました。活動、行事を通して人との繋がり、人と協力し合う事の大切さを痛感しました。これからも繋がりを大切に、青少協の行事が続いていくように協力し合える地域であるといいなと思いました。ありがとうございました。青陵中 増田友佳理

昨年度に引き続き、青少協の活動に携わらせていただきました。どのイベントも楽しいので、ぜひ多くの方に参加してほしいなと思います。特に「ウォークラリー・歩こう会」はオススメです。徒歩圏内でプチ旅行気分を味わえます。1年間ありがとうございました。貝取小 宮本麻里香

1年間の活動を終えて青少協というものが何をするのも全く分からずに副会長になってしまい始めは不安でいっぱいでした。平日の集まりも多く仕事の都合で参加できない事も多々あったのですが青少協会長武内さんや一緒に副会長をして頂いた日野さんに色々教えて頂き助けて頂きながら何とか1年間やり遂げられたのかなと思います。他にもたくさんのご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。豊ヶ丘小 塚田英介

行事報告

■ウォークラリー・歩こう会



11月3日(金) こぶし館をスタートして、小野神社周辺までの里山を歩きながら、丘の上からの眺望を楽しみました。ゴール後には参加賞のお茶で喉を潤し、おにぎりを頬張って疲れを癒やしました。



■第39回どんど焼き



1月17日(土)、穏やかな晴天の下、たくさんの方々の参加で豊ヶ丘小の校庭が賑わいました。点火前の青陵中和太鼓部の演奏には盛大な拍手が湧き、豚汁やお汁粉提供には長蛇の列ができました。保護者や地域のボランティア85人、豊ヶ丘小、青陵中の小学生・中学生ボランティア70人が、朝早くから準備に取り組みました。



■第15回貝取・豊ヶ丘交流ニュースポーツ大会



10月19日(日)、青陵中の校庭で、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、輪投げ、ソフトグライダー、ディスクゴルフの誰でもできる5競技を、参加者個々のペースで自由に楽しみました。競技参加者は、幼児から高齢者までの123人でした。途中で雨が降り出し、30分ほど早く終了となったのは残念。



■子どもと大人の工作の日(こぶし館との共催行事)



12月7日(日)こぶし館のホールで、親子のグループなど51人で多摩そばづくりを楽しみました。



■地域清掃



12月6日(土) 豊ヶ丘小学校と貝取小学校周辺で通学路の落ち葉集めなどの清掃活動を、子どもと大人が協力して行いました。小学生46人、保護者や教職員、地域の方々74人が参加しました。



青少協地区委員会ってなあに？

「せいしょうきょう」は、多摩市青少年問題協議会の略称で、会長は多摩市長、副会長は教育長です。多摩市内の14地区には地区委員会が組織されていて、それぞれ独自の活動をしています。豊ヶ丘・貝取地区委員会は、青陵中学校区を活動地域として、豊ヶ丘小学校、貝取小学校、青陵中学校の保護者の方々、多くの地域の方々に支えられながら、スタッフとして子どもが参加し大人と共に活動する機会づくりとして、どんど焼き、ニュースポーツ大会、ウォークラリー、地域清掃、まるちゃんキャンプ、定例会前の夜間パトロールなどに取り組んでいます。

下記のような参加の形がありますので、みなさんも地区委員会の活動をご一緒しませんか。地区委員会のメールアドレス(ssk-toyokai@mist.dti.ne.jp)に是非ご連絡ください。

1. 興味ある行事の当日運営ボランティアとして参加したい。
2. 興味ある行事の企画段階からボランティアとして参加したい。
3. 地区委員として行事企画や運営に参加したい。